

本時のねらい

和音に含まれる音を使ってつくった旋律のリズムを工夫して、さらにまとまりのある旋律をつくる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

「SONG MAKER」を使うことにより、つくった旋律をすぐに演奏することができ、音を聴き確かめながら旋律をつくることができる。また、「スプレッドシート」に提出した旋律を聴いて振り返ったり聴き比べたりすることで、様々な旋律があることに気づくことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・Chromebook
- ・Chrome Music Lab SONG MAKER
- ・スプレッドシート
- ・ムーブノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・和音の響きや和音に含まれる音について確かめる。 ・前時につくった旋律を聴いて確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和音に含まれた音を使って旋律ができているか再度スプレッドシートで確認する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時につくった旋律のリズムを変えてさらに旋律をつくる。 ・つくった旋律のリンクをコピーしてスプレッドシートに提出する。 ・つくった旋律を発表する。友だちの旋律を聴き、互いの良さについて伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムを工夫してつくった旋律をすぐに演奏することができる。また自分の作った音を聴き、確認しながら旋律をつくっていくことができ、イメージがわかりやすい。 ・全体でスプレッドシートを共有することができ、様々な旋律を聴くことができる。 ・イヤホンを使うことで他者の音が耳に入っていないので、集中して自分の旋律づくりに取り組める。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ムーブノートでふりかえり前時につくった旋律と聴き比べて、リズムを変えることで、どのように変化したか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシートに提出した旋律をすぐに聴けるので、前時の旋律との比較が容易にできる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：音を聴きながら、リズムを工夫して旋律を考えている場面



写真 2：電子黒板に映し出された友達の旋律を聴く場面



写真 3：前時につくった旋律と聴き比べ、ふりかえりを行っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・自分で作った旋律を聴きながらつくることによって、イメージしやすくなり、積極的に取り組む姿が見られた。また、すぐに修正、編集ができるのでいろいろな和音を試すことができた。
- ・友だちのつくった旋律を聴くことで、それぞれの旋律の良さに気づくことができた。
- ・ムーブノートにふりかえりを書き込むことで、自分の感じたことを表現することができ、友だちの意見も知ることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

SONG MAKER を使って旋律づくりをすることにより、つくった旋律の音をすぐに聴くことができ、確認しながら旋律をつくることができた。イヤホンを使うことで自分の旋律に集中して作業を行っていた。また、つくった旋律をスプレッドシートに提出することで、前時につくった旋律と聴き比べをしてふりかえることができた。